

三井E&Sグループは1917年、日本における造船業の必要性を痛感した川村貞次郎(当時の三井物産(株)船舶部長)によって創業されました。その後、ディーゼル機関、プラントエンジニアリングなどの事業を拡大し、日本の近代化、社会の発展を支えながら総合重工メーカーへ成長してきました。

創業

旧三井物産造船部として誕生

“海国タル吾国ハ、立国ノ基礎
自然ニ海運ニ帰スルハ
当然ナルニ依リ”

1917年、造船および修繕工場の必要性を痛感した当時の三井物産(株)船舶部長の川村貞次郎は、社長に造船所設置の陳情書を提出します。この熱い想いから三井E&Sグループは始まりました。



川村 貞次郎

1917年-

造船業をけん引

- 1924 日本初となるディーゼルエンジン搭載の「赤城山丸」を建造 ①
- 1926 デンマーク、B&W社と船用ディーゼル機関に関して技術提携 ②

1950年-

事業領域を拡大
総合重工メーカーへの成長

- 1961 ・米国、PACECO社とコンテナクレーンに関して技術提携 ③
・世界初の大型自動化船「金華山丸」(貨物船)が進水 ④
- 1967 日本初の埠頭用コンテナクレーンが完成 ⑤
- 1976 三井B&W ディーゼル機関累計生産1,000万馬力を達成
- 1987 世界最大のフローティングホテル「ポリコンフィデンス」が完成 ⑥
- 1988 米国、PACECO社よりクレーン商権・株式を買収
- 1992 玉野事業所に最新鋭のディーゼルエンジン組立工場完成
- 1996 高出力・軽量コンパクトなADDディーゼルエンジンを海上保安庁向け大型測量船の主発電用機関として初受注

2000年-

グローバル化への対応
省エネ・環境対応技術の強化

- 2003 三井海洋開発(株)の上場
- 2008 PCハイブリッド製ポンプ200基を達成
- 2009 往復動圧縮機累計受注1,000台を達成
- 2014 岸壁用コンテナクレーン「ボーテナー」累計出荷300台を達成
- 2015 国内初の天然ガスを燃料とした船舶用ディーゼルエンジン「ME-GI」が完成
- 2017 インドネシア・バタム島にコンテナ荷役用クレーン製造子会社「PT. MES Machinery Indonesia」を設立

2018年-

三井E&Sグループ始動
次の100年へ

2018 ・持株会社体制への移行とともに、商号を「三井E&Sホールディングス」に変更



MITSUI E&S

・ディーゼルエンジンの累計生産、1億馬力を達成 ⑦

